

4 資料編

- アイランドシティまちづくりプラン
- アイランドシティ環境配慮指針
- アイランドシティ・デザインガイドライン
- 現事業計画

アイランドシティまちづくりプラン（平成15年9月策定）

■ 趣旨

まちづくりエリアにおいてまちづくりを計画的に推進するための総合的な方針

■ まちづくりの基本的な考え方

「環境共生」のまちづくり

緑や水辺、生物などの豊かな自然と共生し、人と地球に優しい、持続可能なまち

「健康」のまちづくり

人と人とのふれあう地域コミュニティの中で誰もが健やかで生き生きと暮らせるまち

「みんなで関わる」まちづくり

住民、NPO・ボランティア、事業者など地域のみんなに関わり、活力あるコミュニティを創造し、愛着と誇りを持てるまち

アイランドシティ環境配慮指針（平成15年11月策定）

■ 趣旨 先進的な環境共生都市を実現するため、アイランドシティ内の施設等において環境配慮対策を総合的・計画的に進めるための指針

■ 基本理念 緑や水辺、生き物などの豊かな自然と共生し、人と地球にやさしい、持続可能なまち

— 先進的な環境共生都市の実現 —



■ 環境目標と取組事例

豊かな自然環境と共生するまち



屋上緑化
(アイランドタワースカイクラブ)

ストップ温暖化のまち



太陽光発電
(照葉小学校)

人と環境にやさしい交通を取り入れたまち



歩道と自転車道

水や資源を活かすまち



修景池
(アイランドシティ中央公園)

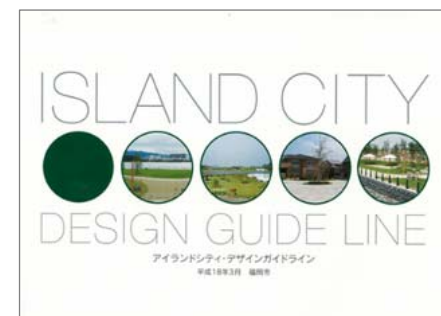
地域で支える、持続可能なまち



環境NPOによる体験活動

アイランドシティ・デザインガイドライン（平成18年3月策定）

- **趣旨** アイランドシティの都市としての魅力向上を図るため、自然環境と調和した「美しいまちなみ」と「緑の都市景観」を創造・担保する都市デザインの考え方と景観形成基準を示すもの。



- **景観デザインの基本理念**

海に抱かれ、緑豊かな自然環境の中で人が生きいきと暮らせる景観デザイン

- **景観デザインの方針**

海に抱かれる 景観デザイン



海への眺望の確保

緑豊かな 景観デザイン



公園から見える景観に配慮された建築物
(外壁のデザイン・色)

人が生きいきとくらす 景観デザイン



住宅地の交流空間

現事業計画（平成21年12月策定）

/// 策定の背景 ///

- ◆ 現行計画取りまとめ（平成16年度）後の社会経済状況の変化，博多港開発(株)工区のまちづくりの進展，平成19年度に行った事業の検証・検討結果，新青果市場の立地等の重要な市政方針を反映
- ◆ 市5工区のまちづくりの姿を市民に示し，事業を着実に推進

/// 特徴 ///

1. みなとづくりエリア

- 1) 臨海部物流拠点（ロジスティクスセンター）の形成
高度で大規模な物流施設の集積
- 2) 「新青果市場」との連携による港湾機能の強化

3. エコパークゾーンを中心とする博多湾東部地域

- 1) 市民に親しまれ利用される空間づくり
環境共生や健康づくりに関連する取り組み
- 2) エコパークゾーンを中心とする水と緑の拠点づくり
アイランドシティと既成市街地を結ぶ海上遊歩道の整備

2. まちづくりエリア

- 1) 市5工区を中心とした先進的な環境共生のまちづくり
 - ア 国内トップレベルの低炭素型都市づくりとモデル地区「CO2ゼロ街区」(仮称)への本市独自のインセンティブの活用・拡充
 - イ 博多湾東部地域における環境教育・環境情報・市民交流などの拠点機能（自然観察スペース，教育・研修施設，エコミュージアム等）の導入検討
- 2) 自然とふれあい，豊かな感性を育む環境共生空間の創出
「野鳥公園」「緑の軸（グリーンベルト）」の整備による「水と緑の拠点づくり，緑の顔づくり」
- 3) 「賑わいとふれあいの場」の形成
センター地区の設定

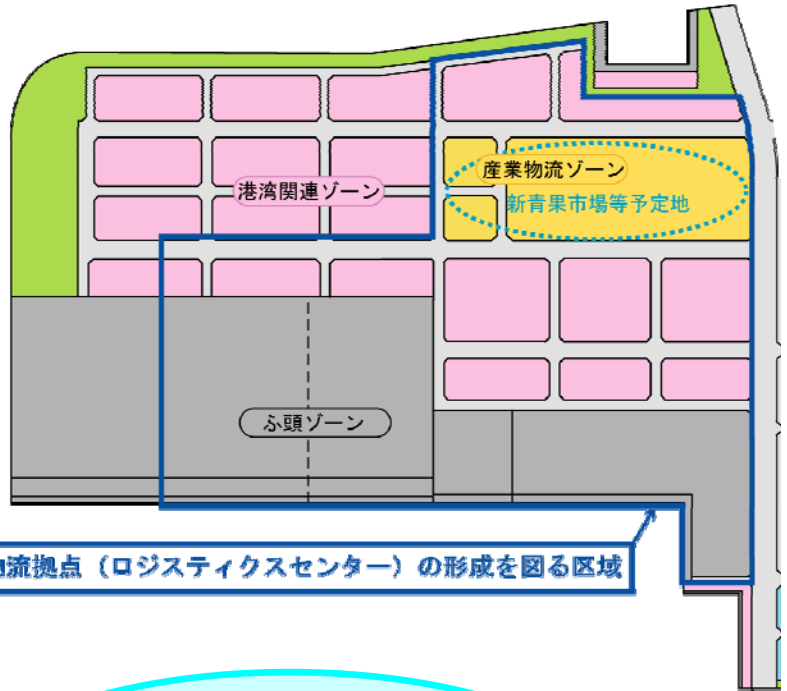
現事業計画（平成21年12月策定）

///みなとづくりエリア///

コンセプト 国際競争力のある物流拠点の形成

目標像

- 九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支えるみなと
- 低炭素社会の実現に貢献するみなと
- 災害に強い安心・安全のみなと



国際コンテナ物流ゾーンの形成

最新鋭の外貿コンテナターミナル整備など、香椎パークポートと連携しながら、国際コンテナ物流ゾーンを形成

臨海部物流拠点の形成

国新規施策「臨海部物流拠点(ロジスティクスセンター)の形成を図る区域」の博多港港湾計画への位置づけを踏まえたコンテナターミナルの整備や高度で大規模な物流施設の集積を推進

土地利用計画

2工区内に新青果市場等用地を確保
※土地分譲期間は平成39年度まで

現事業計画（平成21年12月策定）

///まちづくりエリア///

背景

環境

少子・高齢化

アジア

コンセプト

都市活力の向上に挑戦する“グリーンアイランド”の創造
～豊かな自然と共生する低炭素型のまちづくり～

目標像

- 環境共生を実感できるまち
- 多様な都市機能と良質な住環境が共存する交流のまち
- 多彩な人が学び，新たな産業を創出するまち

現事業計画（平成21年12月策定）

〔基本コンセプト〕 都市活力の向上に挑戦する“グリーンアイランド”の創造
～豊かな自然と共生する低炭素型のまちづくり～

テーマ1

低炭素型モデル都市づくり

テーマ2

自然との共生

テーマ3

持続可能なまち

エネルギー

- 再生可能エネルギーの活用
- 域内交通の省エネ・省CO₂化

資源循環

- 雨水等の利用推進
- リサイクル材等の循環利用



マネジメント

- 地域全体でのエネルギー
マネジメントの導入

ライフスタイル

- 環境への取り組み等の
「見える化」
- 環境に関する研究・学習
機能の導入

自然環境

- グリーンベルト（緑の骨格軸）の形成
- 野鳥公園の整備

まちづくり完了時点（2030年頃）において国内トップレベルの低炭素型都市を実現

現事業計画（平成21年12月策定）

//エコパークゾーンを中心とする博多湾東部地域//

1) 市民に親しまれ利用される空間づくり

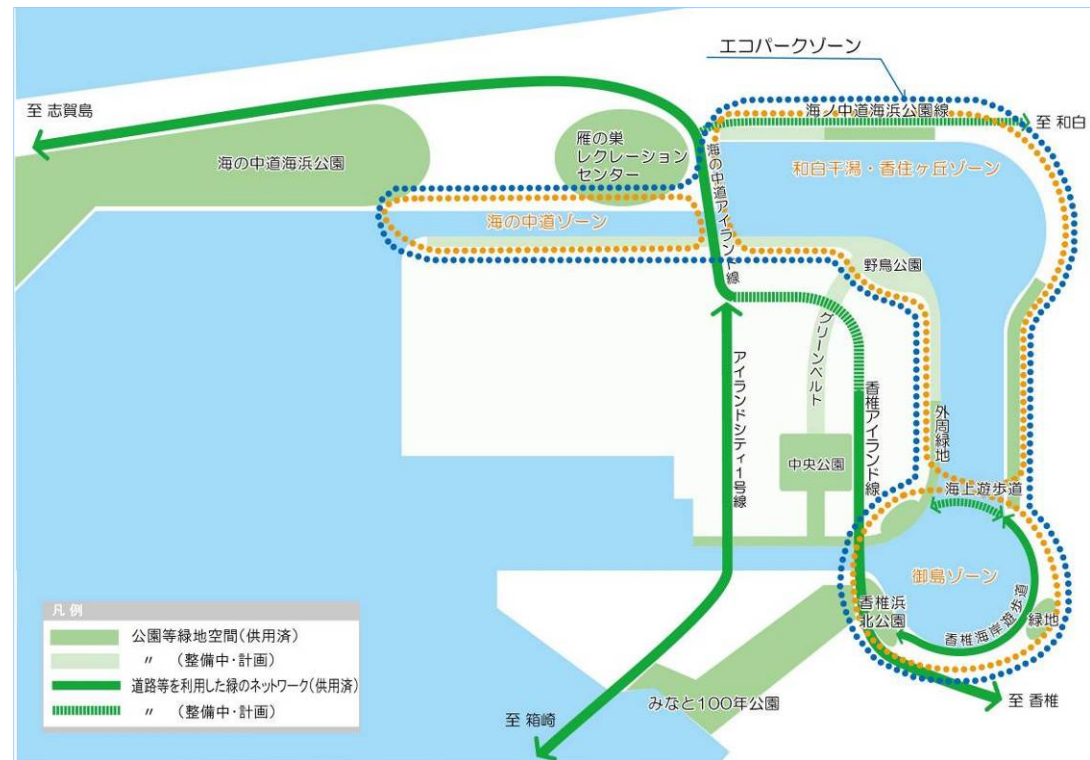
エコパークゾーン・野鳥公園等の豊かな自然環境に恵まれ、公園・レクリエーション施設や環境関連施設、大学が多く立地している博多湾東部地域の特性を生かし、環境共生や健康づくりに関連する取り組みを進め、多くの市民に親しまれ利用される空間づくりを目指す。

ア 環境共生に関連する取り組み

- ①市民が自然を身近に感じることができる空間づくり
- ②市民が気軽に環境共生について学び、行動するための機会の提供（体験学習プログラム実施、市民と産学官の共働による環境保全・創造活動等）
- ③環境共生の取り組みを支援する拠点機能（自然観察スペース、教育・研修施設、エコミュージアム等）の導入の検討

イ 健康づくりに関連する取り組み

- ①市民の憩いの場となる空間づくりや気軽に運動を楽しむことができる空間づくり
- ②公園・レクリエーション施設間の連携強化による、地域全体での健康づくりの場としての機能向上



現事業計画（平成21年12月策定）

2) エコパークゾーンを中心とする水と緑の拠点づくり

エコパークゾーンについては、アイランドシティの外周緑地や野鳥公園、アイランドシティ中央公園やグリーンベルトと緑のネットワークを形成。周辺部の公園・緑地などと有機的な連携を図り、豊かな自然環境を生かした水と緑の拠点づくりを進める。



ア エコパークゾーン

- ① 和白干潟等の豊かな自然環境の積極的な保全と創造，自然環境と市民生活との共生
- ② 御島ゾーンにおける水際拠点の形成
アイランドシティと対岸を「海上遊歩道」で結び、御島水域を周回できる親水性の高い回遊空間を創出。

イ 野鳥公園（約12ha）の整備

ウ 適切な水域利用の誘導

レクリエーションの利用増への対応
自然との共生を図った水域利用宣言と
ルールづくり，連絡会議の活用

エ 市民共有の財産としての活用の推進

- ① ガイドブックによるPR，市民の認知度向上
- ② 「エコパークゾーン環境保全創造計画」
自然と共生する環境整備
ゾーン活用のためのソフト施策

現事業計画（平成21年12月策定）

■ 全体事業費

（単位：億円）

事業主体	当初計画	H 1 6 計画	H 2 1 計画
国（直轄事業）	544	544	704
福岡市	2,194	2,723	2,591
国の補助事業等	490	818	765
市の起債事業	1,704	1,905	1,826
博多港開発(株)	1,850	645	645
計	4,588	3,911	3,940

※端数処理のため計が一致しない箇所がある。

■ 福岡市（起債事業）の収支

①機能施設整備事業（単位：億円）

区分		金額
収入	起債	531
	使用料収入	729
	計	1,260
支出	事業費	553
	償還元金	531
	支払利子	170
	計	1,254
収支		6

※平成75年度時点（累積赤字解消時）

②臨海土地整備事業（単位：億円）

区分		金額
収入	起債	1,560
	土地分譲収入	1,679
	計	3,240
支出	事業費	1,273
	償還元金	1,560
	支払利子	282
	計	3,115
収支		125

※端数処理のため計が一致しない箇所がある。

■ 博多港開発(株)の収支

（単位：億円）

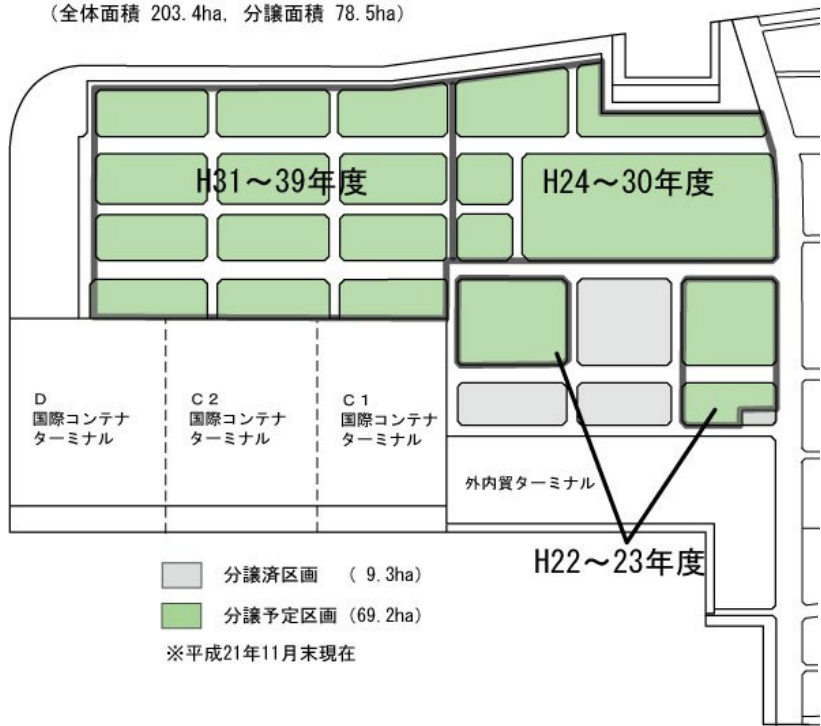
区分		金額
収入	借入金等	1,719
	土地分譲収入	771
	譲渡価格	399
	計	2,889
支出	事業費等(注)	993
	償還元金等	1,719
	支払利子	174
	計	2,886
収支		3

(注)993億円のうち、事業費は645億円。差額は旧2工区にかかる事業費等。

現事業計画 (平成21年12月策定)

福岡市 1～4 工区

(全体面積 203.4ha, 分譲面積 78.5ha)

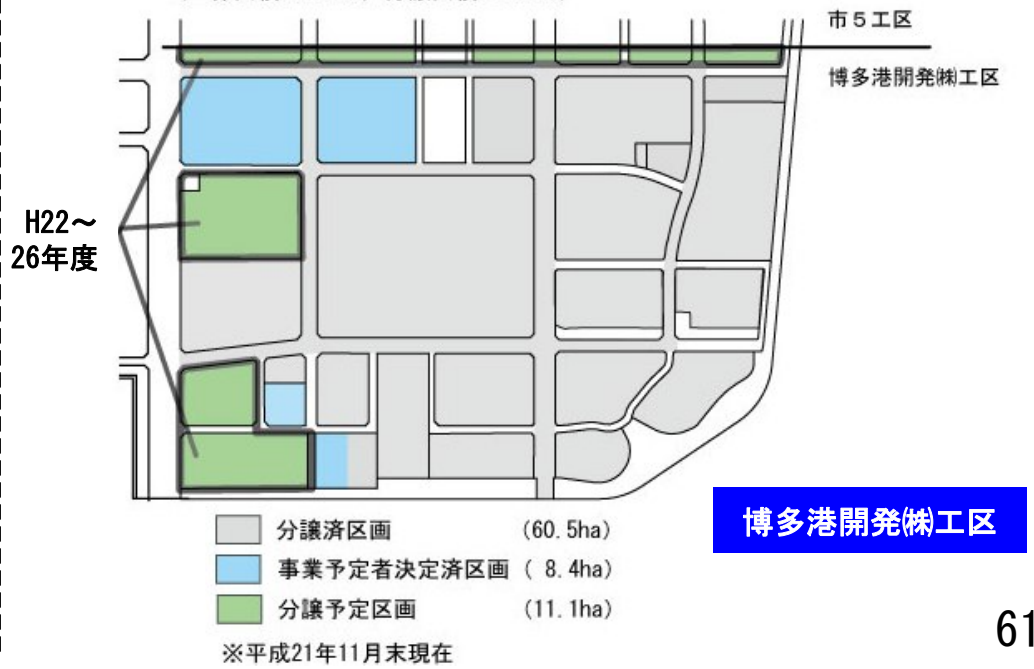


福岡市 5 工区

(全体 94.6ha, 分譲面積 65.4ha)



(全体面積 97.2ha, 分譲面積 80.0ha)



博多港開発(株)工区



Island City